

平成26年2月27日

(あて先) 熊本市長

住所 熊本市西区
団体名 NPO法人 熊本わくわく体操ボランティア協会
代表者 職名 理事長 氏名 田中和恵



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成25年4月1日付け指令(市協)第37号により、平成25年度熊本市市民公益活動支援助成金の交付を受けました事業の実績について、下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名 地域福祉施設とNPOとのふれあいまちづくり・健康づくり事業

2 助成事業の実施期間

平成25年4月1日 ~ 平成26年2月27日

3 助成事業の内容

福祉施設のサービスなどに行きたくていけない、あるいはまだいきたくないという方が地域の友人と一緒で気軽に参加できる場の提供。体を動かして楽しくふれ合うことで、まちづくり、健康づくりに貢献できる。

4 事業の成果

この事業を実施したことにより地域の連帯感が増した。事業サークル活動が月に1回ではあるが、できるよりに発展した。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書(様式第16号)

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

(3) その他参考となる資料

事業報告書

平成25年度

事業名	地域福祉施設と NPO とのふれあいまちづくり・健康づくり事業
目的	まだ福祉施設のデイサービスなどに行くには早いですが、独り住まいで話し相手もいないような方が、地域にはたくさんいらっしゃいます。近くにあるコミュニティーセンターに講座生として参加するということは楽しみも多く、その日がくるのを待っている人が大勢います。熊本市では行き届かない自治会単位で地域の皆様に呼びかけネットワーク作りのお手伝いができます。また、そこで学んだことをさらに小さな集りのサロン活動でも活用できるようノウハウを学びます。
事業期間	平成25 年 4 月 ~ 平成26 年 2 月
具体的な事業内容	[事業の役割] ① 広報活動・人集め 「わくわく体操を体験してみませんか」というチラシをつくり、自治会にお願いをして、回覧をしていただいた。その後その地域の自治会長さん・民生委員さんと口こみで、1件、1件回り集まっていただくようお願いをした。 ② 具体的内容 ① わくわく体操（イスに座って行う体操）童謡などを歌って体を動かす。 ③ クラフトやゲームなど ④ おやつを食べ、皆さんと交流する。 研修をかねて実施した。 10 円×200 枚=2,000 円資料代 10 円×300 枚=3,000 円チラシ印刷代 コミセン使用料 20 回 その他使用料 3 回 参加人数 30 回=626人 公民館使用料 7 回（地域の住民が使用する場合使用料なし） 30 回中、6 回は講師謝金及び参加費は発生していない。
活動場所	熊本市コミュニティーセンター 公民館・道場
期待される効果	・つえをついて来られた 90 歳の女性の方が帰る時には、軽い足取りで実に楽しく身体が軽くなったと喜ばれた。 ・笑ったことがおありかな？と思われるような、固い職場退職後の男性がお腹をかかえて笑い、実に楽しそう帰られたれた。 ・人をお誘いすることで、地域の中の自分の存在を、改めて感じたとおっしゃる。お世話をして下さった方、など 本当に充実した一年間でした。 この一年間を通して、実地した地域では、これからのさらなる継続と発展の必要性を実感した。益々多くの地域の活性化を目指したい。

様式第 16 号 (第 9 条関係)

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳	
収 入	自己資金		参加費 50 円×20名×24回=24,000 円	
		24,000	その他	
	熊本市市民公益活動支援 助成金	100,000	当該事業助成金交付決定額	
	その他の補助金・助成金			
	寄付金・協賛金	2,318	個人・団体からの寄付金	
	その他			
計		126,318		
支 出	助成対象経費	報償費		
			48,000	講師謝礼 2,000 円×24 名=48,000円
		役務費		
		使用料・賃貸料	48,000	会場費(使用料内訳詳細は別紙表参照)
		備品費・消耗品費	5,000	資料チラシ印刷代 10冊 200 枚=2,000 円 10冊 300 枚=3,000 円
		旅費		
	その他			
	小計	101,000		
	助成対象外経費	飲食費（おやつ）	25,318	お茶・菓子
小計				
計		126,318		